

多様な利用者への訪問の充実にに向けた助言指導事業～小児・障害児～ 実施要綱

1. 目的

訪問看護ステーションが地域のニーズに沿った質の高い看護を提供すると共に、効率的・効果的な運営を行うためには、訪問看護師の看護実践能力や管理力などの向上を図ることが必要である。

特に、医療構造改革の進む中で、医療依存度の高い小児が在宅療養する事が多くなっており、小児への訪問看護の充実に図ることが求められている。しかし、小児の訪問看護の希望に対応できる看護師に限りがある現状である。

そこで、小児・障害児への訪問看護の実践力強化を図るため、助言指導事業を実施する。

2. 事業内容

下記の3事業を実施する。

(1) 小児・障害児の同行訪問等研修事業

ア) 事業概要

小児・障害児への訪問看護に関して講義を受講すると共に、「訪問看護ステーション ちょこれーと。」において、訪問に同行し対応を学ぶ機会を設ける。

イ) 対象

訪問看護ステーションの看護師

ウ) 内容および開催時期

講義

・講義を受講後に同行訪問による指導を受けることとする

講義日程

① 6月12日(火)13:00～14:30

② 9月13日(木)13:00～14:30

③ 12月10日(月)13:00～14:30

* 講義については、滋賀県看護研修センター(公益社団法人滋賀県看護協会)で実施

同行訪問による指導

平成30年6月13日 ～ 平成31年2月28日の間で、希望者と日程調整を実施

エ) 開催場所

訪問看護ステーション ちょこれーと。

オ) 申込方法

別紙1にて、申し込む。

(2) 小児・障害児の処遇に関する助言事業

ア) 事業概要

小児・障害児への訪問看護に関する疑問や困難が生じた場合に、メールおよび電話などにて助言指導を受ける。

イ) 対象

小児・障害児への訪問看護を行っている訪問看護ステーションの看護師

ウ) 相談事業実施期間

平成30年5月1日 ～ 平成31年2月28日

エ) 助言指導の申込方法

① 相談したい内容について、別紙2にて訪問看護支援センターに送信する。

② 指導助言者より、看護師に電話またはメールにて助言する。

(3) 小児・障害児への訪問看護実践助言指導事業

ア) 事業概要

小児・障害児への訪問看護を学びたい看護師の所属する訪問看護ステーションに、小児・障害児の訪問に熟練した看護師(指導者)が出向き、現地で小児・障害児への訪問看護の実際を、指導する機会を設け、対応を学ぶ機会を設ける。

イ) 対象

小児・障害児への訪問看護を行っている訪問看護ステーションの看護師

ウ) 事業実施期間

平成30年5月1日 ～ 平成31年2月28日

エ) 開催場所

現場での助言指導を得ようとする訪問看護ステーションおよび訪問する利用者宅

オ) 助言指導の申込方法

- ① 相談したい事例について、別紙3にて、同行訪問による助言を依頼する。
- ② 指導助言者より依頼者に連絡し、具体的な日程を調整し、同行訪問による指導を行う。

3. 実施主体

この事業は、公益社団法人滋賀県看護協会の訪問看護支援センターが主体となり、「訪問看護ステーション ちょこれーと。」の協力を得て実施する。

4. その他

この要綱に定めるもののほか、必要な事項は看護協会長が別途定める。

付則

この要綱は、平成30年5月1日から施行する。